

勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2021 年 第 179 号 令和3年9月定例会の内容をわかりやすくお知らせします

特集記事 ^{対談!}

林野庁関東森林管理局

千葉森林管理事務所と市議会



特集記事 (対談)	2・3 P
審議結果 (トピックス)	4～7 P
委員会活動等	7～9 P
一般質問	10～13 P
きみの未来、あなたの未来	
議会のうごき 編集後記	14 P

令和3年11月
広報広聴
常任委員会
0470-73-6662

特集記事

林野庁千葉 森林管理事務所 と 市議会

特集記事第26回は、林野庁千葉森林管理事務所のみなさんとの対談です。

森林整備の重要性について語っていただきました。



人の育成は、木の育成！

【どのようなお仕事をしていますか】

●林野庁関東森林管理局千葉森林管理事務所は千葉市稲毛区にあり、勝浦市上野にあるのが上野森林事務所になります。森林官をはじめ3名体制で国有林を管理する業務などを行っています。勝浦市の森林面積は、5796ヘクタールありますが、その内、約4分の1の1376ヘクタールが国有林です。例えばここに1年生から100年生までの木があ

るのですが、木を切った後には造林という作業があります。地面を整理する地拵^{じしき}を行い苗木を植付ます。その後苗木が順調に生長するよう下刈、除伐、間伐などを行い森林資源の循環利用をします。また土地の管理やパトロールの実施。サカギ、シキミ、シダなど葉物類も副産物として売り払ったりする場合もあります。

【森林が果たす役割や機能について教えてください】

●広義の意味では環境です。森林はスポンジの役目をしており、雨が降ったら一気に水が出る事はなく、徐々に出ていくことで、麓^{ふもと}の水田や水道水の水源地となります。また保安林は水産資源保護の役割をしています。森林は海の恋人と言いますが、森林から流れてくる水に栄養があって、魚介類を育てているという話もあります。勝浦市も海がありますので、海を育てるということは、山を育てることかと思えます。もう一つ

狭義の意味では、建築材や山菜、ジビエ食材など生活に関わりのあるものを提供してくれます。

【森林整備の重要性や今後の課題について教えていただけますか？】

●かつて薪として利用していた広葉樹を伐採し、杉やヒノキを植林してから50年以上経過しています。しかしながら材価の下落により木材の利用が減ったため、個人の所有している山は、手入れが行き届きません。木材の利用促進のため、できれば家を建てる時には木造建築でお願いできればと思います。街並みが良いところの家は、必ず木材を使っていますので、木をどんどん使っていたければと思います。あとは次代を担う人材の育成も急務かと思っています。

【木を切った後は、また同じように杉やヒノキを植えているのでしょうか？】

●基本的には杉、ヒノキを植えています。今は、低花粉、少花粉の苗を

植林しています。元々は広葉樹の所もあり、その広葉樹に戻そうという流れもあります。

【山の中の作業での気を付けていることはありますか？】

山に入る時には、ヒル対策をしています。イノシシなどに遭遇することもあります。イノシシが逃げます。場所にもよりますが、キョンが増えています。マムシやダニ、あとは蜂です。蜂は今の時期になるとオオスズメバチなので、羽音が聞こえたらすぐ逃げるようにしています。

【勝浦市のイメージをお聞かせください】

●カツオが有名ですね。以前他県にある森林管理署に勤務していた時には、わざわざカツオを食べにきました。

●ラーメンが好きなので、勝浦タンタメンを制覇したいです。何か特典を与えてくれるとありがたいです。

●南房総市から通っています。小さい頃は行川アイランドや海中公園に遊びにきました。

【市や議会に対して、何かご意見はありますか？】

●勝浦市の農林水産課さんと数年前から共同施業団地について協議をしています。民有林、国有林が隣接している所を団地化し、そこで一緒に間伐や皆伐、植林をする共同施業団地の創設を進めていければと思います。今日はありがとうございました。



松野 喜一 首席森林官



戸村 文彦 調整官



石井 正夫さん



遠藤 紘之 主事

令和3年9月定例会審議結果

勝浦市議会ではこんなことが決まりました！

○9月定例会 会期 9月6日から9月21日まで16日間

出席議員の全員が賛成した議案等

議案番号	件 名	付託委員会	結 果
議案第33号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度勝浦市一般会計補正予算について）		承認
議案第34号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度勝浦市一般会計補正予算について）		承認
議案第35号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度勝浦市一般会計補正予算について）		承認
議案第36号	勝浦市過疎地域持続的発展計画の策定について	総務文教	可決
議案第37号	勝浦市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について	総務文教	可決
議案第38号	勝浦市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決
議案第39号	勝浦市個人情報保護条例及び勝浦市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決
議案第40号	令和3年度勝浦市一般会計補正予算	総務文教	撤回 承認
議案第41号	令和3年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算	産業厚生	可決
議案第42号	令和3年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算	産業厚生	可決
議案第43号	令和3年度勝浦市介護保険特別会計補正予算	産業厚生	可決
議案第44号	令和3年度勝浦市水道事業会計補正予算	産業厚生	可決
議案第45号	決算認定について（令和2年度勝浦市一般会計歳入歳出決算）	決算審査	認定
議案第46号	決算認定について（令和2年度勝浦市国民健康保険特別会計歳入歳出決算）	決算審査	認定
議案第47号	決算認定について（令和2年度勝浦市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算）	決算審査	認定
議案第48号	決算認定について（令和2年度勝浦市介護保険特別会計歳入歳出決算）	決算審査	認定
議案第49号	決算認定について（令和2年度勝浦市水道事業会計決算）	決算審査	認定
議案第50号	監査委員の選任につき同意を求めることについて		同意
発議案第5号	勝浦市議会委員会条例及び勝浦市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について		可決
発議案第7号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について		可決

議会報では、市民生活と深く係わる議案をいくつか取り上げて重点的にお伝えしています。
全議案については、勝浦市ホームページをご覧ください。

議案の賛否（賛否が分かれた議案のみ掲載）

議案 番号	件 名	審議 結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
			鈴木 克己	狩野 光一	渡辺 ヒロ子	照川 由美子	戸坂 健一	磯野 典正	久我 恵子	寺尾 重雄	佐藤 啓史	岩瀬 洋男	松崎 栄二	丸 昭	黒川 民雄	岩瀬 義信	末吉 定夫
議案第 51号	令和3年度勝浦市一般会計補正 予算修正案	否決	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×	—	×	×	×	×
議案第 51号	令和3年度勝浦市一般会計補正 予算	可決	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	—	○	○	○	○
発議案 第6号	元北中学校施設施設の有効利用 に関する決議について	否決	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	—	×	×	×	×

「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「退」は退席（棄権）、「除」は除斥、「—」は議長を表します。
※議長は、地方自治法の規定により採決に加わりません。

●トピックス その1

議会報編集委員会が広報広聴常任委員会に変わります。

議会最終日に発議案第5号 勝浦市議会委員会条例及び勝浦市議会基本条例の一部を改正する条例の制定についてが発議され、全会一致で賛成可決となりました。

改正のポイント

これまでの議会報「みんなのギカイ」の編集・発行に加え、議会報告会に関する所掌事務が加わりました。

広報広聴常任委員会

委員長 佐藤啓史 副委員長 狩野光一

委員 岩瀬洋男 久我恵子 黒川民雄 鈴木克己 渡辺ヒロ子

●トピックス その2

市長より9月市議会定例会以前に緊急を要するために専決処分をしたものが報告され、承認されました。

6月28日に専決処分された主なもの

- ・市内4海水浴場開設中止に伴う予算の減額 △ 33,566,000 円
- ・海岸等の安全対策として海岸警備員の配置、海岸清掃他の経費の追加 29,439,000 円
- ・12歳以上64歳以下の市民を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種のための経費の追加（全額国の負担） 73,604,000 円

7月5日に専決処分されたもの

- ・7月1日～4日の梅雨前線豪雨により被災した道路、河川、市有地土砂崩落撤去等の復旧に要する経費の追加 16,588,000 円

8月10日に専決処分されたもの

- ・8月7日～8日に接近した台風10号の豪雨により被災した道路、河川、農地の復旧に要する経費の追加と被災した住宅に流入した土砂等の撤去に要する経費の追加 40,504,000 円

●トピックス その3

代表監査委員に浅野由美子氏を選任同意

監査委員西川徹氏が令和3年9月30日をもって退職することに伴い、後任に浅野由美子氏が代表監査委員として選任同意されました。



【経歴】

東京教育大学教育学部心理学科卒業後に千葉県庁入庁し、環境生活部県民生活課主幹、環境生活部大気保全課副課長、総合企画部女性サポートセンター所長を歴任されました。千葉県庁を退職されて令和3年6月より、一般社団法人千葉県勝浦海中公園センター監事を務めています。人格、職務経験において優れた識見の持ち主です。

●トピックス その4

国に対する意見書を全会一致で可決し、提出しました。

発議案第7号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について

以下の5項目を要望しました。

1. 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
2. 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。
3. 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとすること。
4. 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
5. 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

各常任委員会等の活動報告

産業厚生常任委員会

議案第38号	勝浦市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について
議案第41号	令和3年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算
議案第42号	令和3年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算
議案第43号	令和3年度勝浦市介護保険特別会計補正予算
議案第44号	令和3年度勝浦市水道事業会計補正予算

産業厚生委員会には、以上5件が付託され、9月14日委員会を開催。審議の結果、最終日の本会議において、委員長からの審査結果報告後、採決を行い、全議案全会一致により「可決」となりました。

- ・議案第36号 勝浦市過疎地域持続的発展計画の策定について
- ・議案第37号 勝浦市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について
- ・議案第39号 勝浦市個人情報保護条例及び勝浦市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

以上3件の議案については、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

・議案第40号 令和3年度勝浦市一般会計補正予算
委員会に於いて、賛成少数（賛成3名：反対4名）により否決

予算案は、既定予算に17億6,074万9千円を追加し、予算総額を111億6,415万6千円にしようとするものでありました。

補正予算案には、ふるさと納税の増額による8億円の積み増しや、コロナ対策臨時交付金充当事業、クリーンセンターやし尿処理場の補修工事費、8月豪雨による災害復旧費等、市民生活に密着した内容でありましたが、この予算案の中に、（仮称）かつうら海中公園再生計画事業として、追加工事費と追加工事設計業務委託料3,897万3千円が提案されていきました。

提案説明によると、「既存建物の解体時にアスベストが見つかったことからその対策に要した経費相当額を補填するため、及び建設予定の地下に埋設された擁壁が見つかったことから、その撤去工事に要する経費を補正する」ためとのこと。

このため、委員会として現地視察を実施し、現地に於いて（株）石井建築事務所及び東武建設（株）から追加する事業内容の説明を受けました。

この結果により、総務文教常任委員会に於いて、（仮称）かつうら海中公園再生計画事業に関する補正予算への質疑が集中し、追加事業に対する疑問点も多く出され、委員会での採決は予算案否決となりました。

※補正予算案が委員会で否決されたため、議会最終日に議会初日に提案した補正予算案（議案第40号）を撤回し、海中公園に係る補正予算額を、1,496万円に減額して再提出し、賛成多数で可決されました。（議案第51号）



現地視察を実施しました。

決算審査特別委員会

令和2年度勝浦市一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計、以上5件の歳入歳出決算を審査するため、7人の委員による決算審査特別委員会を設置し、9月15日及び16日の2日間、予算の執行状況、財政運営等や予算執行に関する諸帳簿の確認と審査の結果、一般会計及び、その他4会計はいずれも全員賛成で認定すべきものと決定しました。

委員長、副委員長及び委員は次のとおりです。

委員長	副委員長	委 員
丸 昭	渡辺 ヒロ子	・久我 恵子・黒川 民雄・佐藤 啓史 ・鈴木 克己・戸坂 健一

決算審査特別委員会での主な質問

Q 不妊治療費助成事業の実績及び保険適用について

A 昨年度までに28世帯へ助成を行い、16世帯18名が誕生しており、大変有効な事業である。保険適用で自己負担分も生じると想定しており、国の制度設計を踏まえ、できる限りの助成を図りたい。

Q 若者等定住促進事業の成果について

A 住宅取得奨励金は、転入若者夫婦が3世帯、夫婦と子ども1人の世帯が1世帯、子ども2人の世帯が3世帯の合計5件であり、賃貸住宅入居奨励金は、転入が3世帯、市内転居が1世帯の合計4件であり前年と比較し増加している。

Q 災害時通信対策について

A 災害時に全ての通信が途絶えてた場合でも交信ができるよう、情報の多ルート化として衛星電話を3台導入している。また、パケット通信によりどこのエリアでも通話ができるIPトランシーバーを導入している。

Q 直営診療施設勘定のその他の診療報酬収入の増加理由について

A 予防接種の件数が増加し、1,311件の内インフルエンザが1,178件であり、65歳以上の助成を2千円に引き上げたことが要因ではないかと考えている。

Q 水道事業会計の収益に対する今後の取組みについて

A 今後も人口減少が見込まれ、コロナ禍による流入人口の激減から使用水量も激減している。経費削減を更に行うため、検針と請求の方法を毎月から隔月にすることで経費を大きく抑えることができると見込まれる。

委員より出された貴重な意見に対し、新年度予算編成にできる限り反映するよう申し添えました。

関係諸帳簿及び証書類検査の様子

※昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策として、委員会は議場で行い、委員会室では、机、座席の間隔をとりアクリル板を設置しました。



市政の目が見たい

一般質問



9月8日・9日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。

9月8日			
照川由美子 議員	佐藤 啓史 議員	磯野 典正 議員	鈴木 克己 議員
①コロナ禍における防災の課題と対策について	①市道の維持管理について ②ネーミングライツ（命名権）について ③海水浴場について ④（仮称）キュステ動画コンテストについて	①勝浦市人口ビジョンについて	①勝浦市の活性化に資する提案事項に対する対応について

9月9日		
戸坂 健一 議員	狩野 光一 議員	寺尾 重雄 議員
①災害時における避難指示について ②外房地域における海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進区域指定について	①コロナ感染症に対する、本市の医療体制について ②コロナ感染症に関する市民への情報発信について	①子どもたちの経済に関わる「マネー教育」について

一般質問の記事は、発言議員本人が要約したものです。全文は、勝浦市議会会議録をご覧ください。また、インターネット録画配信でもご覧いただけます。



照川由美子議員

コロナ禍における防災の課題と対策について

Q コロナ感染が急拡大する危機的状況の中、台風10号による土砂災害が発生。本市の地域防災計画に基づき次の点を伺う。

- ① コロナ感染拡大状況の中、避難訓練をどのように行うか。
- ② 三菱自動車との災害時協定と、庁内の電源確保の進捗状況は？
- ③ 今回の土砂災害の現状と復旧の課題は？
- ④ 風雨による避難所の指定及び確保と、発災直後の廃棄物仮置き場の選定の進捗は？

A 感染防止対策を基に次のように取り組む。

- ① 「玄関まで避難」と、高所階へ移動する「垂

直避難」を実施する。
② 大規模災害時の輸送手段、被災地の視察、電気供給等で使用できるよう協定を締結。現在、庁内の電源確保に向け、施設設備の設計を進めている。

③ 市野川と芳賀の他、市道では8件の土砂崩落が発生。大規模災害における対応力の確保が課題である。

④ 仮置き場は、旧大森粗大ゴミ捨て場や閉校したグラウンド等を活用する方針である。今後、民間用地の候補地選定に努める。

Q 児童・生徒の安全な学校生活に向け「防災教育」や「オンライン学習」「ワクチン接種状況」についての現状と取り組みを伺う。

A 東日本大震災等の自然災害からの教訓を生かし、立地条件に対応した安全計画を策定。学校と

地域が連携して、防災意識の高揚に努めている。

「オンライン学習」は、1人1台端末の配布が完了し、授業での活用を開始。情報モラル教育や教職員のスキルアップに取り組んでいる。

「ワクチン接種」は、優先的な日程を設け、対象者349人中、8月末までに、希望者252人が2回目を終了している。

Q 市全体でのワクチン接種の課題は？
A 個別接種のできる医療機関との調整や、3回目接種の動向に注視していきたいと考える。



「三菱自動車と災害協定」



佐藤啓史議員

市道の維持管理

Q 級別の数、総延長距離数は？

A 1級市道10路線、2級市道15路線、その他市道700路線の合計725路線。総延長距離は24万6,402m。

Q 修繕要望箇所数、維持経費、大規模な道路改良が必要な市道は？

A 修繕要望箇所数は令和2年度606件。維持経費は、令和2年度3,913万7,110円。大規模な道路改良が必要な道路については、各路線を精査し時期総合計画に盛り込みたい。

Q 除草経費、総延長距離数に対する除草区間距離数と割合は？

A 令和2年度2,570万4,000円。除草区間距離数は3万2,054mで13.01%である。

Q 市道の維持管理のために道普請に取り組む区への対応と支援についてお聞きする。

A 地域の実情を踏まえた指導管理の在り方を検討したい。

Q 市道の維持管理及び災害時におけるSNSの活用策は？

A 積極的に検討したい。

ネーミングライツ

Q 市道のネーミングライツを提案する。

A 検討したい。

Q 現在建設中のかつうら海中公園滞在型温浴施設のネーミングライツの可否及び是非についてお聞きする。

A ネーミングライツの可能な施設であり前向きに検討したい。

海水浴場

Q BBQや完全禁煙など特色ある海水浴場の開設を提案する。

A 国際環境認証であるブルーフラッグの取得に向けて研究を進めていく。

Q 海水浴場の有料化を提案する。

A 有料化は難しい。

(仮称)キュステ動画コンテスト

Q SNSやYouTubeなど自作動画への関心が若い世代を中心に浸透している。そこで世界中のユーザーをターゲットに(仮称)キュステ動画コンテストの開催を提案する。

A 映像文化の振興をはじめ、芸術文化活動への参加を促進し、本市の活性化へ繋がると期待できる。



磯野典正議員

勝浦市人口ビジョンについて

Q 2030年の人口が1万3,675人と推計しているが市民税は2020年と比較してどのくらい減少するか？

A 市民税・法人市民税合わせて6億4,124万3千円と推計し、2020年と比較した場合1億2,797万円の減小見込み。率で16.6%の減少見込み。

Q 国際武道大学の現在の学生数と、勝浦市に住所変更されている学生数が10年前と比較し、どのように変化しているか？

A 国際武道大学の収容定数は1,760人で、5月現在1,654人。住所変更されている学生数は10年前約1,

200人いたが、現在は約600人となっている。

Q 人口流出を抑えるために、6月議会で提案した『ふり奨学金制度』についてその後検討されているか？

A 様々なケースを想定し、制度の活用を検討したいと考える。

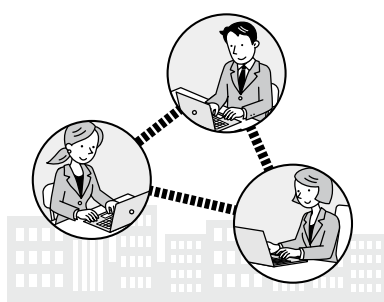
Q 社人研の推計では2060年の人口は5,320人。そのうち59.8%が老年人口。それを支える生産年齢人口は36.4%。年少人口は3.9%。今まで以上に健康への意識改革の向上に努め、IoTを活用し、医療費の削減に努める必要があるが市の考えは？

A 先進事例を含め注視していく。

Q テレワークが可能なIT企業へのサテライトオフィスや2拠点生活といったアプローチは非常に効果的であると考える。

企業が求める、心と身体の健康を維持できる環境は勝浦市にあることからIT企業への勝浦市の価値のPRを行ってはどうか？

A テレワークの普及により郊外へと生活拠点を移す動きが活発化している。転職なき移住といった新たなライフスタイルが実現可能となりつつあることから、これを好機と捉え、企業へのアプローチを含め、必要なPRを実施していく。





鈴木克己議員

勝浦市の活性化に資する提案事項に対する対応について

Q アルゼンチン国関係者から、国際武道大学との連携を視野に留学生の受け入れと人材交流をベースとした地域活性化策が提案されていると思うが、提案内容と対応について伺う。

A 国際交流と地域活性化に関する一案として話を聞いたが、諸条件の整理など課題を有するものであり（市長の）自己判断により内容を聞くに留めた。

Q 敬愛大学に於いて、勝浦市を中心とした観光学研究の拠点設置の検討がされていると聞が、その対応と支援について伺う。

A 観光学の拠点というよりも観光商工分野での連携についての話でありました。産官学連携で双方にメリットがあるので今後推進する。

Q 閉鎖されているかんぼの宿勝浦の再稼働に向けての動きがあるとのことであるが、その状況と市としての支援協力体制について伺う。

A 旧かんぼの宿勝浦は、現在売却に向けて準備中で詳細は、検討中とのこと。

新たな事業者が決定した際は、積極的にトップセールスを行い連携する。

Q 元行川アイランド跡地再開発計画は、新型コロナウイルス蔓延により休止されている状況であるが、市長就任からの2年間に開発会社とはどのような対応をされてきたのか。この開発について勝浦市と

して今後の支援体制の考えは。

A 現在は、着工に向けて事業執行の段階にある。

事業者には、令和元年8月及び11月に直接事業推進の要望を行った。今後、共立メンテナンスの計画推進の考え方を確認した上で、本市の活性化に最大限効果が発揮できるように支援や要望をします。



休止中のかんぼの宿勝浦



戸坂健一議員

災害時における避難指示などのあり方について

Q 今年5月に法改正があり、災害時の避難勧告が廃止され避難指示に一本化した。勝浦市でも今年度何度か避難指示が出たが、避難者も少なく課題も多い。災害時、より効果的で実践的な避難体制を確立する必要がある。過去の避難指示において市長をリーダーとした災害対策本部を設置しなかったのは何故か。

A 設置の検討はしたが、必要ないと判断した。避難指示は市民にとっても大きな義務を伴う。避難指示を発令するほどの災害時であれば政治家である市長がリーダーとなつて災害対策本部を設置し、陣頭指揮を取るべきではないのか。

A 今後、大きな災害時には躊躇せず対策本部を招集するというのを検討していきたい。

Q 過去2回、大雨災害時に発令された避難指示は市内全域が対象だった。災害時の的確な避難のためにも、今後は、土砂災害警戒区域など、本

当に危険が迫っている区域に限定する等、避難対象地域を明確にした運用をすべきと考えるが。

A 災害時は執行部で連携を密にし、研究の上的確に判断をしていきたい。

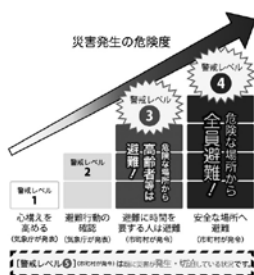
Q 災害時、ホテルや旅館など民間宿泊施設に自主避難した際の宿泊費用助成制度を検討してはどうか。これにより、分散避難を推進し、病气や介護などで避難を躊躇していた要配慮者の方々にも避難場所を提供できる。

A 関係機関と事例を研究していきたい。

Q 外房地域における海洋エネルギー活用について、いすみ市沖が海上風力発電の有望区域に選定された。しかしこれまで

の議会でも指摘したとおり勝浦沖も適地である事が判明している。市民の皆さんに正確な情報を迅速に伝え、活用検討について真剣に議論すべきだ。また漁業者の皆さんに対しても、正確な情報を共有していくべき。そこで、市主催の勉強会や検討会を早急に開催して欲しい。

A 関係者との情報共有を図りながら今後検討していきたい。





狩野光一議員

コロナ感染症に対する本市の医療体制について

Q 市内感染者に対応可能な医療機関および病床数は？

A 夷隅郡内は、いすみ医療センターで病床数は24床。および、亀田総合病院と患者受け入れなどに関する医療提携をしている。

Q 昨今の感染拡大を受けて、病床数を増やすなど対応力の強化はなされているか？

A 病床確保は県が主体で行っており、直接の関与は難しい。医療機関に対する費用負担という形で側面的な支援を行っている。

Q 感染が拡大すれば自宅療養者も増えると思う

が、その環境が整わない家庭もある。家庭内感染を防止する観点からも、自宅から離れて療養できる施設を市として確保して提供すべきではないか？

A 運用面で市単独では難しい。今後、県に対して臨時の医療施設や入院待機施設の設置を要望する。また、自宅療養者への生活支援体制を強化していく。

コロナ感染症に関する市民への情報発信について

Q 市民に対する予防意識の再啓発についてどのように考えているか？

A 市民の皆さまにとって、予防行動を継続することは大変ご苦労であると思うが、今の行動が未来につながると考えており、マンネリ化を防ぐために表現の工夫に努めながら引き続き啓発活動

を実施していく。

Q 感染症に関する情報を現在どのような形で市民に伝えているか？

A 広報誌、ホームページ、防災行政無線を活用している。

Q 感染拡大や状況の変化に伴い、情報量も増大すると思うが、今後の情報発信について考えはあるか？

A 広報誌のレイアウトの工夫や号外の折り込み、ホームページのリニューアルなどを通じて、見やすい情報発信を継続するとともに、かつつらメイトやテレビのdデータなど新しい手段の活用も考えていきたい。



寺尾重雄議員

子どもたちの経済に関わるマネー教育について

Q 来年4月に成人年齢が18歳に引き下げられ、クレジット・ローンなど自己責任における契約が出来るようになります。

携帯電話保有の低年齢化・電子払いなど色々な問題がありますが、市の子どもへの教育の方向性をお考えをお伺いします。

A 子どもたちのマネー教育ですが、教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成に努めています。また経済に関わる教育は、発達段階に応じた計画を立て、消費者教育を中心に学習しています。

Q 話題になった「あつまれ動物の森」というゲー

ムは、借入と投資をしながら、展開していく内容です。ゲーム機の貸出しは無理でしょうが、無料教材などを使用し、経済に触れる教育、対策についてお伺いします。

A 5・6年生に、生活を支えるお金と物の領域で消費者の仕組みについて学習します。道徳教育では「借りたものは返す」「公共物は大切に扱う」など社会的なルールについて学習し、ゲームの課金などのネットモラル教育にも取り組んでいます。

Q 最近、現金ではなくICカードが小遣いの子どもも多く、そのせいか計算が苦手、計画的にお金を使えない「欲しい物」「必要な物」の違いを理解して賢くお金を使うことを教えていただきたい。

A 中学校では、家庭生活と消費の領域で、収入と支出、色々な購入方法、クレジットカードなどの支払いについて学習します。また、体験的な学習の重要性は本年度小学校低学年の生活科で、買い物体験などの学習をしていますが、コロナ禍の影響も子どもたちの安全を第一に考え、実施可能な体験学習を行っています。

また、職場体験を実施していますが、さらに多く

きみの未来、あなたの未来



勝浦中学校 2年
あきは
秋葉 なぎささん

私の将来の夢は保育士になることです。私が保育士になりたいと思うようになった理由は2つあります。1つ目は、子どもと一緒に遊ぶことが好きだからです。2つ目は、小学生の時に職場見学に行った際に、保育士さんが優しく笑顔で接しているのを見て、自分もそんな保育士になりたいと思ったからです。子どもを預かり面倒を見ることは大変なことですがとてもやりがいのある仕事だと思います。私は保育士になるために、一生懸命に勉強に取り組み、将来笑顔で優しい保育士になれるように頑張りたいと思います。

議会のうごきについて報告します (令和3年8月～令和3年10月)

議会のうごき

8月2日	南房総広域水道企業団運営協議会 (大多喜町)	9日	本会議 一般質問
5日	千葉県市議会議長会役員会 (千葉市)	10日	本会議 質疑 決算審査特別委員会
10日	勝浦市芸術文化交流センター運営協議会	13日	総務文教常任委員会
16日	I C T分科会	14日	産業厚生常任委員会
25日	議会運営委員会 議会改革検討委員会	15・16日	決算審査特別委員会
26日	観光商工審議会	21日	本会議 最終日 議会運営委員会 広報広聴常任委員会 (※議会報編集委員会)
30日	夷隅郡市広域市町村圏事務組合定例会 (いすみ市)	28日	勝浦市郷土資料室開室式
9月1日	議会運営委員会	29日	広報広聴常任委員会 (議会報対談)
6日	本会議 初日 全員協議会 表彰選考委員会	10月3日	日本武道館研修センター50周年記念式典
8日	本会議 一般質問 議会運営委員会	21日	広報広聴常任委員会 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会 (千葉市)

編集後記

漢字の話ですが、インターネット上に「聞く」と「聴く」の違いについて解説がありました。「聞く」には耳しかないが「聴く」には耳と目と心があるというもの。なるほどと思いました。

このたび、議会報編集委員会から広報広聴常任委員会に組織が変わり、これまでの議会報による「広報」にくわえて「広聴」も担当することになりました。

皆さんの声を耳で「聞く」だけでなく、目も心も使って「聴く」ことを大切にして「広聴」の活動に取り組んでまいります。

広報広聴常任委員会副委員長 狩野 光一

お問い合わせは、勝浦市広報広聴常任委員会 (73-6662) まで

勝浦市ホームページ <http://www.city.katsuura.lg.jp>



QRコードは
ここだよ!

勝浦カッピー

